

《門司の環境を考える会》
辺野古埋め立て採石ニュース



2015年5月12日
《No.1》
連絡先
080-1730-8895
(八記久美子)

辺野古埋め立て土砂…西日本から大型トラック 350万台分

門司区の採石場 3カ所からも

ショック! 門司の石が戦争のために使われるなんて…

■岩ズリ採取予定地と量

- ・門 司…740 万^m
- ・奄美大島…530 万^m
- ・天 草…300 万^m
- ・五 島…150 万^m
- ・佐多岬…70 万^m
- ・瀬戸内…30 万^m
- ・徳之島…10 万^m

この中には
門司の3カ所の採石場
の他に、山口県の「防府
市の向山」と「周南市の
黒髪山」も含まれてい
ます。

※岩ズリ…採掘に伴って産出される岩石のダストのことです。



■海面より 10m高い滑走路

防衛省・沖縄防衛局の埋立申請書によると、キャンプ・シュワブ沿岸部に建設予定のV字形滑走路は172ヘクタール。海面より10m高く埋めるのに投じる土砂は2,100万^mにのぼるそうです。

■8割を県外から

土砂の内訳は岩を砕いた「岩ズリ」が79%、山土17.5%、海砂2.8%。この投入土砂のうち400万^mはキャンプ・シュワブの陸上部と辺野古ダム周辺の地元土砂を充てるそうですが、残る8割の約1,700万^mの岩ズリは、県外の採石業者から購入されることになっています。

《全国協議会の結成大会が》

岩ズリの購入が想定される西日本各地の団体等が集まって、「辺野古埋め立て土砂採取地・全国協議会(仮称)」の結成大会が、5月31日(日)に奄美大島で開かれます。

《当会にもお誘いが》

門司の環境を考える会にも、奄美や瀬戸内海的环境団体から、お誘いの連絡が来ています。会の対応については、5月19日(火)の世話人会で、話し合うようにしています。

《見学に来られます》

それに先立ち、環瀬戸内海会議の代表者の方達が、門司の採石場の見学(外からしか見られませんが)に来られます。森下・八記が同行するようにしていますが、せっかくですので、交流の時間を取っていただきました。各地の住民運動の様子なども知ることが出来るのではないのでしょうか。是非ご参加下さい。

環瀬戸内海会議の方達との 交流会を行います

- ・5月15日(金)
- ・16時30分~18時
- ・大里柳市民センター
会員でない方も、参加できます